

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	植松 光徳（8）	<p>1. 富士市におけるZ世代への地域定着とキャリア形成の支援策について</p> <p>人口減少と少子高齢化の急速な進行において、富士市の経済産業を担う人材の確保は重要な課題です。特に富士市の将来を担う10代から20代の若い世代、いわゆるZ世代がこの地域に定住または移住し、充実したキャリアを築くことができる環境づくり・居場所づくりが必要です。</p> <p>そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響により、彼らの就職活動は、かつての私たちの世代と大きく様変わりしました。オンライン面接の普及やスカウト型採用など、若者の価値観は多様化し、それぞれの物差しで企業を測る売り手市場の傾向が強まっています。選ばれる側に回った富士市の企業は、どのようにZ世代と向き合えばよいのか試されています。</p> <p>そこで、Z世代の地元への定着と、彼らのキャリア形成に向けた移住・就職支援に関する富士市の取組について、以下質問いたします。</p> <p>(1) Z世代の人口流出入状況をどのように把握し、現状分析をどのように行っているか。</p> <p>(2) Z世代の定住・移住促進、またキャリア形成のための支援策など、具体的にどのような施策を行っているか。</p> <p>(3) 人材アシストU-30で中小企業が直接、奨学金機構への返済を立て替える場合も事業対象としてはいかがか。</p> <p>2. 富士市における看護師確保について</p> <p>看護師はチーム医療の中で患者のケア、医師や多職種との連携において重要な役割を果たします。全国的に医師・医療従事者不足が問題となっている中、当市においても看護師が足りないといった声が各医療機関・介護事業所から上がっています。看護師不足により市民に提供する医療の質の低下が懸念されます。</p> <p>この問題解決のためには、看護師の確保はもちろんですが、専門的な看護師教育の充実やプログラムの整備が求められます。そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 富士市として看護師の充足状況をどのように捉え、確保に向けてどのような対策を行っているか。</p> <p>(2) 富士市立中央病院における看護師確保状況と今後の見通しについて伺う。</p> <p>(3) 富士市立中央病院を退職する看護師の動向はどのように把握しているか。また、それに対する評価をどのように行っているか。</p> <p>(4) 富士市立看護専門学校卒業生の就職先や、現在の就職状況の実態把握はどのように行っているか。</p> <p>(5) 教員の勤務環境実態や充足状況についてはいかがか。</p> <p>(6) 看護教育の質の向上や過密なカリキュラムを緩和するため、看護専門学校の4年制化が必要と考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長